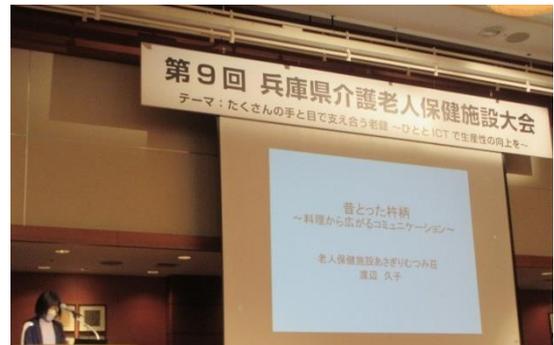


人は「ありがとうとか、おいしかった」と感謝され喜んでもらえることで生きがいを感じることができ、人とのつながりが1人の人を良い方向へと変えていくことが感じられた事例を報告しました。他の施設職員からも「個別に対応でき 人生を良い方向に変えることができ素晴らしかったですね」と好評価を得ました。

また 他の施設での発表で印象に残ったのが、音楽を通して利用者が笑顔になった事例でした。職員が音楽を楽しんでほしいと 音楽サークルを設立し、ギター・ベース・三線などを生演奏した結果、感情・認知・知覚を活性化することができ、体や脳や心にもリラクゼーション効果をもたらしたとの発表がありました。音楽は様々な効能・効果をもたらすことも痛感し 生演奏の偉大さを感じ取れた事例でした。たくさんの良い事例や 貴重な体験報告を拝聴し 今後参考にできるところは施設に持ち帰り伝達講習していきたいと思えます。



演題発表 おやつクッキング



昔とった杵柄 料理から広がるコミュニケーション

・・・三輪看護師の演題発表に 優秀奨励賞を受賞・・・

施設サービス課 渡邊 久子

第9回 兵老健大会に参加し演題発表してきました。開会式後、兵庫老健 松田 年司会長より前回大会で 三輪 久美子主任が“あっぱれ シニア職員 ～縁の下のシニア職員によって 深まった職員の絆～ の演題発表に対して優秀奨励賞を受賞されました。部下として名誉であり非常に誇らしく思いました。



特別講演で “LIFE の可能性について改めて考える” という演題で講演がありました。実際に 現場として考えるいい機会になりました。LIFE の研究は 試行錯誤を繰り返しながら まだ発展途上過程にあり、参加施設が増えるほど 多くの悩みや希望の声が行政に届けることが可能となるように感じました。